

お子さんが困っていることはありませんか？

本校では、生徒一人ひとりの教育的ニーズの把握に努め、適切な指導及び支援を行うよう、「教育相談・特別支援教育推進委員会」を設置しております。生徒一人ひとりの個性やニーズは様々で、学習上のつまずきを感じていたり、進路の選択に悩んでいたり、友だちとの人間関係に苦労したり、様々な場面で「困っている」ことがあるかも知れません。

私たち教職員は「生徒が困っていること」を受けとめ、適切な指導及び支援に努めていきたいと考えています。お子様の学校生活や学習等について「困っていることがある」と感じている場合は、遠慮なくご相談ください。

(例)

○学習面

- ・黒板を写すのがにがて
- ・読みにくい文字を書く
- ・計算は得意だが、文章問題がにがて
- ・レポートや課題の提出をよく忘れる等

○友だちとのつき合い方や、対人関係

- ・友人関係がうまくとれず、集団の活動に入るのがにがて
- ・言動や行動が誤解されやすく、クラスメートとトラブルになることがよくある等

○日常生活

- ・急に予定が変わると不機嫌になり、なかなか気持ちを切り替えられない
- ・怒りっぽい（カッとなりやすい）
- ・落ち着きがない等

カウンセリングルームについて

本校では、カウンセリングルームを開設し、生徒のさまざまな悩みや困りごとの相談を受け付けています。

<カウンセリングルームの利用について>

開室は週1回程度です。専任のスクールカウンセラーが担当します。休み時間のほか、授業時間帯にも利用できます。ただし、授業時間帯は、原則として予約制となります。予約したい場合は、保健室の先生に申し込みをします。予約が特定の授業時間帯に集中しないように配慮の上調整し、授業は公欠扱いとしています。

昨年度も、大変多くの生徒が利用しました。思春期の子どもたちは、大人にはわからないところで深く思い悩んでいます。ただ話を聞いてもらいたいだけというならよいのですが、相談内容によってはすぐに対応が必要になる場合もあります。その場合は、保護者に連絡させていただいたり、職員で情報の共有を図り見守りの体制をとらせていただいたりしています。

生徒だけでなく、保護者の方からの相談も受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。